

自転車で行こう

▼ルーツ・スポーツ・ジャパンが企画した全国各地の大会をご紹介▼

温泉ライダー

7月に石川県の加賀温泉郷、11月に栃木県の喜連川温泉で開催。汗をかいた後は名湯で疲れをいやそうという趣旨

若さと柔らかなアタマで

表も裏も!! 市民参加レース密着取材 今回は運営編

今回は運営編

今回は運営編

業務をフルカバー
自転車イベントはお手もの。企画立案、コース設定、道路使用許可申請、広報、参加者対応、事務局、安全管理計画、もちろん、業務の一部を別

デザイン制作、記録計測、式典運営、人員計画、会場設営、当日運営全般など、イベントに必要な業務をフルカバーする。主催としての立場は別

「ルーツ・スポーツ・ジャパン」の社員。前列左から4人目が中島さん。静岡県袋井市のエコバスタジアムで(斉藤直純撮影)

の主催者から受託することもあり、その際も主催者側に立ってクオリティとコストの最適化を図る。このあたりがノウハウの生かすところだ。

また、エントリーシステム・WEB設計・記録計測では、最新のIT技術



勝利チーム関係者を招集するスタッフ

全国各地でユニークな自転車イベントを企画・運営している会社がある。温泉ライダー、猛暑を逆手に取った「バーニングマン」、港を舞台にした「フィッシュマンレース」など。そこで、今回と同社は手がけた東西対抗形式の耐久レース「東西対抗エンデューロ」の会場を訪れ、レースの裏表をチェック。前編は若さあふれる同社社員たちの仕事ぶりなどイベントの裏側をチェック。今回は表側のレースの楽しさをお伝えします。(山口和幸)

静岡での「東西対抗エンデューロ」に潜入

総合的に企画運営
「日本分断! 天下分け目の東西対抗エンデューロ」(以下「E.C.O.P.A.」)が11月23日、静岡県袋井市の小笠山総合運動公園エコーパドで開催された。参加者を日本の東西に分け、その成績によってどちらが勝つかを決めるというユニークな自転車耐久レースだ。この大会を運営するのが、中島祥元さんが代表を務めるルーツ・スポーツ・ジャパン。小さいながら若さあふれる会社。サイクリングをメインに、ランニングなどの市民参加型D.O.S.ポーツイベントを総合的に企画運営する。今回訪れた大会は、その助成金を受けての「スポーツ振興くじ助成事業」で、参加費を「東西対抗エンデューロ」で疾走する選手たち

可能な限り低減。さらに自転車メーカーなどの協賛を受けて参加者にプラアルファの楽しみを提示している。このあたりがサイクリングイベントの魅力を演出している。このあたりがサイクリングイベントの魅力を演出している。このあたりがサイクリングイベントの魅力を演出している。



スタート前、選手に注意事項などを伝達

自転車界盛り上げます



賞状の受け渡し手順の打ち合わせは綿密に

最後の盛り上げ表彰式 商品手渡す順番が重要

イベント参加者の楽しみのひとつはフィナーレとなる表彰式だ。この日はJ SPORTSのツール・ド・フランス実況でも知られるタレントのサッシャさんが司会を務め、小気味よいテンポで進行していった。ステージ進行などの段取りを考え、事前に説明しておくのも社員の仕事。前日までに副賞として手渡す

商品の仕分けを済ませ、万全の準備態勢を整えておくのが秘訣(ひけつ)だ。

参加者にとっては憧れの存在であるゲストライダーを登場させ、コミュニケーションを図ることも忘れない。締めくくりに協賛企業から提供された豪華賞品のプレゼント。参加者にとってのメインイベントは「レースを走る」ことだが、それと同じような満足感をもって帰路につくことができるだろう。



表彰式前、進行役のサッシャさんと式典の打ち合わせ

▼ルーツ・スポーツ・ジャパン 自転車をはじめランニングなどの参加型イベントを運営する。2009年創業。スポーツ大会の立ち上げから企画運営、スポーツによる町おこし支援、スポーツを介した企業のマーケティングなどを行っている。2013年の自転車イベント運営は13大会。社員10人で来春までに2人加わる。東京の千駄ヶ谷を拠点とする。問い合わせは03(3478)5566

あついぞ! 熊谷バーニングマンレース 「日本一暑い町」として知られる埼玉県熊谷市で、真夏に行われた耐久レース。体を冷やす設備を用意し、給水の重要性などをアピールする試みも取り入れた

かすみがつらエンデューロ 4回目の開催。公道を封鎖し4時間耐久。日本百景に選ばれた美しい霞ヶ浦を一望できるコースで開催された